

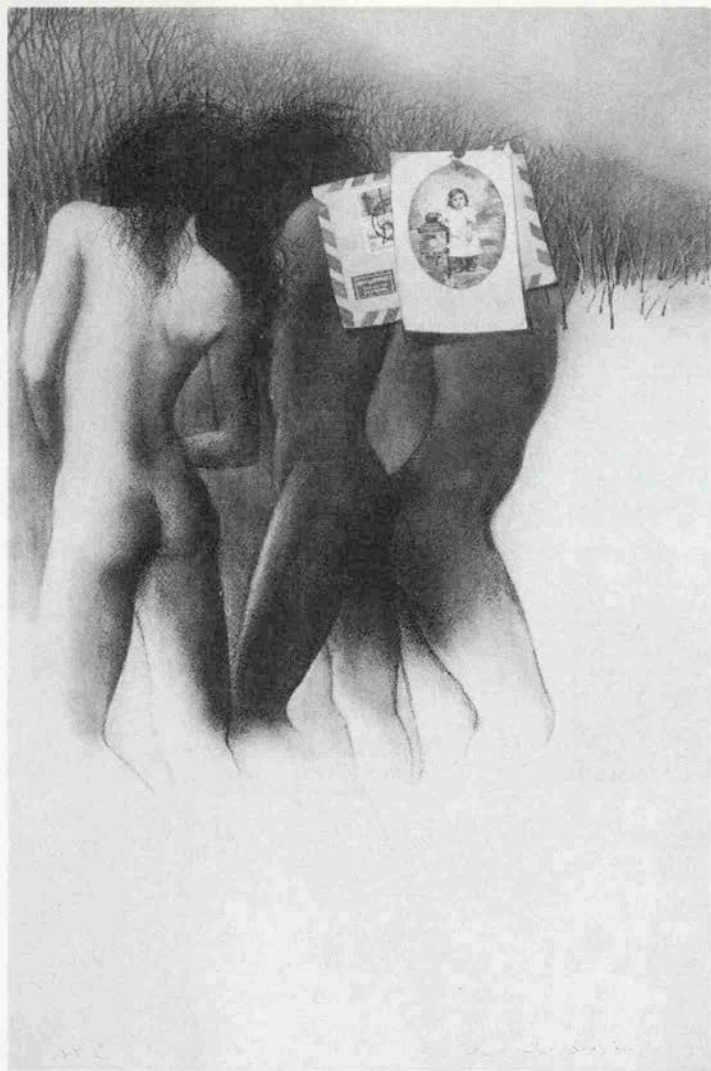
連載小説△第三回▽

■第16回神戸文学賞受賞■

香水はミス・デイオール

白石美保子

え・南和好



博行は再びチラと直子を見たが、すぐに視線を元に戻した。冷めたい拒絶がその目にあった。無視されて直子の心も冷えていく。

ノックの音と同時にドアがあき、点滴液を持った看護婦が入ってきた。さっきナースステーションで見かけた人だ。えらく不機嫌な顔をしている。

かわいい顔立ちの若い娘なのに、きつと忙しすぎてイライラしているのだろう。直子はじやまにならないように隅によけた。

一言も口をきかないまま用をすませ出ていこうとした彼女は、ドアの前で振り返った。

「困るんですよ、田崎さんには。一人で食事しようとしないうですから。看護婦も今、人手不足で患者さん一人一人にゆっくりと食事させてあげる暇なんてないんですよ。今まで来ていた人、一体どうしたんです？ 急に来なくなっちゃって。あの人、奥さんじゃなかったんですか。田崎さんもかわいそうだけど、こちらとしてもホント困るんですよ」

彼女は着物姿の直子を、上から下まで無遠慮に見ながらつつけんと口にした。病人の付き添いに来たのではないのか、とその目が非難している。

「付き添いなんてしませんよ、私。誰がするものですか。あなたがお困りなら人をやりますよ。それくらいのお金は、あの人の保険で出るでしょうからね」

直子は看護婦の視線をはねかえし、胸の内ではつぶやいた。

夕方もう七時半が過ぎるとあたりは薄暗くなる。いつのまに降り出したのか、庭のサザンカの葉が、雨にぬれて光っている。

そういえばもう六月も半ば。さっきテレビで西日本の梅雨入りを報じていた。また、うとうという毎日が始まる。

直子は廊下に立って、一枚一枚戸袋から雨戸を引き出

した。

一人暮らしの心細さからことの外、用心深くなり、夜もあたりが薄暗くなると早々に雨戸をしめ、窓という窓のかぎを確めてまわるのが習慣になっていた。

前に建っている信用金庫の、二階の窓ガラスにネオンが反射している。道後の温泉街からはかなり離れた住宅地のここも、最近、道が広がってずいぶん賑やかになっている。

レンタルビデオの店だの、ナイトショップだの、ビューティサロンだの、やたら横文字を使った若者好みの変わったデザインのお店が、建ち並ぶようになっていた。

それらの放つネオンの明かりが、濃くなっていく暮色の中で鮮かに浮かび上がり、その分、建物一つひっこんだことは、よけい暗さが際立った。

直子は雨戸をくる手を休め、ぼんやりと庭を見た。いや、庭といえるほどのものではない。廊下の端に立ち、身をのり出して手を伸ばせば、もう少しで届く所に信用金庫の裏塀があったから、それはむしろ通路といってもいいくらいだった。

ほんの三年ほど前、ここはもっと広い庭だった。さつき、梅、桜、その他いろいろな草花が苔と共に植えられ、季節がくるとさまざまな花を咲かせていた。

それらも植木職人が、気に入ったものだけ丹念に掘って持ち帰った後、残された草花や苔は、あつという間にブルドーザーの下敷きとなり、アスファルトに埋まってしまった。

そのかわりに直子一人、なんとか食べていけるだけの金額が、毎月決って預金口座に振り込まれるようになったのだから、庭や草花への愛着など、生きてゆくことに比べれば、そう重要なことではないと思いがちながらも、淋しさと胸の痛みは折にふれ、こうして顔を出す。

習っていた茶道が趣味の城を出るようになって造ったこしかけ待合は、門に入って飛石を十ばかり進んだ所にあった。

そばには桜の木があつて、満開の時を選び、花の下で、ごく親しい人を招き、野立てを楽しんだこともある。信用金庫の駐車場となつたそこは、昼間いろいろの人が出入りして車を止めた。

廊下に立てばそれらの人がまともに見え、その上、家の中までのぞかれるのに辟易し、かといって塀をこれ以上高くするのも風情がなく、思いついてサザンカを植えてみた。三年たつた今、枝も伸び、葉も茂つて格好の目かくしとなっている。

電話のベルが聞えた。せわしげに鳴りつづける。直子はいそいで雨戸をしめ、居間に走つた。

上島令子から電話のあつた夜以来、ベルの音にはことさら神経がとがっていた。彼女のことを思い出すからではない。博行の身に、何か起つたのでは、とどうしても思ひはそこへ行く。

三年二カ月ぶりに会つた時、初めこそ憎いと思つたものの、あまりの変りように胸の内のわだかまりを捨て、素直な気持で接したつもりだった。

それなのに博行はそんな直子を見無視していた。彼の心には、今なお去つた上島令子が住みつづけているのだからうか。

憎い。それでいて淋しい。もう顔も見たくないと思う。思いながらもこうしてベルがなると、もしや博行の身に、とつさに考えてしまう自分が、こつけいでもあり、哀れでもあつた。

電話はしかし東京の行彦からだった。コレクトコールを使っている。胸の内の不安がうそのように消えて、頬がゆるんでくるのがわかつた。

彼はいつものように金の無心をした後、幾分トーンを落した声で、司法試験のことだけど、オレやつぱりやめたからね、と言つた。

直子はうろたえた。

「なんでまた。受けるつていつてたんじやないの。お父さんの跡つぐつて、あれほど言つてたじやない」

「うん、まあ、そう言つてたころもあつたけどさ。でも、弁護士つて職業、オレあんまり好きじやないんだよな。今まではなんとなく周囲の期待に自分を添わせてきたけど、でも、自分の人生だろ。本当にやりたいことやってみようと思ふんだ」

「一体なにをやりたいって言うの」

「うん、まあ、心当りはあるんだけど。もっとスケールの大きい生き方ができるような仕事なんだよな。いなかに戻つて、好きでもない職業について、結婚して一生を終わる。そんな平凡でちまちました人生を送りたくないんだよ。考えただけでうんざりする」

「そんな夢みたいなこと言つて。平凡なことは幸せなことなのよ」

懸命に言いつのりながら、直子は自分の言葉のもつ、意味の空虚さにハツと気づく。

直子自身、幸せだと思つていた平凡な生活が、ある日突然くずれたではないか。ああどうだと理屈をつけながらも、結局は親のエゴだとわかつていた。わかつていてもなお、それは行彦のためだと信じていた。

「とにかく、あなたは田崎の家をつぐ人なんだから、そこんとこよく考えて行動しなくちゃ」

「家をつぐとかなんとか言つて、大した家でもないだろ。大体そういうふうにはレール敷かれること自体が嫌なんだよ。オレの人生なんだからさ。やりたいようにやるよ」

自分のことばかり考えて、誰のおかげでこれまでに大きくなつたか、と言つてやりたかつた。が、それを言えば親子ゲンカになるのは目にみえている。波立つ胸をおさえて、直子は哀願するように言つた。

「お母さんも心細いのよ。病氣のお父さんかかえて相談する人もいないし」

「……」

行彦には父親の背信も、病氣で倒れ入院中であることも、その時どきで長い手紙を書いてしらせていた。

それに対する返事がまるつきりないのにしびれを切ら

し電話をしてみれば、大変だったんだねえ、の一言で片づけられ、男の子というものはこんなに情の薄いものなのか、と淋しい思いをしたことが何度もある。

「とにかくよく考えて。でないと必ず後悔する時が来ると思うの」

「あんまりオレに期待しないでくれよな」

「どうしたの。変ねえ。好きな女の子でも出来たというの」

母親の直感を、幾分からかいても交えて言った直子に、行彦は憤然とした調子でいった。

「バカにしないでくれよ。いるさ、それくらい。もう十二なんだぜ、オレ。いつまでも子供扱いしないで欲しいな」

「いるっていったって、その人だってまだ学生でしよ
う」

「恋人は年下とは限らないさ」

「年上なの」

「ああ、国際線のスチュワーデスやってる。もうベテランだよ」

「結婚するつもりなの」

「ゆくゆくはね」

行彦の声がはずんでいる。

年上の人だなんて。そんな人といつ、どこで、どのようにして知り合ったのか、と聞きたくて、けれども口にすればますます彼に背を向けられそうで、直子は黙り込んだ。

行彦の妻となる人に、直子は一つの理想を持っていた。ひかえめで心やさしく、できれば自分といっしょにお茶をたしなってくれるような人を、と思っていた。

彼がどちらかといえば派手で、やみくもにつっ走る性



格だったから、それを柔かくおさえてくれる地味な娘を、できればこの松山の地で捜したかった。

そんな彼女とひとつ家に住み、共に料理をしたり買物をする。子供が生まれれば手助けもしよう。家族という小宇宙の中で、夫と共につつましい老境を迎える日を、直子は夢みていたのだ。

今、夫が去り、肝心の行彦もこうしていなかには帰りにくくない、と言っている。直子は足元の大地が、少しずつ崩れていく予感に、あおざめていた。

おとといから降り続けている雨が、今日も一日やみそうになかった。

少し早いと思ったが、行きがけにデパートへ寄るつもりで直子は着物をかえ、雨ゴートを用意してタクシーを呼んだ。

毎週月曜日の午後は、嫁にいった娘がエアロビクスに出かける日なので孫のお守りにゆくから、その日だけ付き添いを替って欲しい、というのが来てもらう時の家政婦の条件だった。

タクシーは道後の旅館街を抜けて、電車通りへと入っていく。

これといった欲しいものがあるわけではなかった。ただ、一昨日の夜、行彦からの電話の後、めいりこむような淋しさの中で、ふと夫を思い出していた。

病院には最初の日も入れれば、都合六回たずねていた。それでも夫の、かたくなに直子を見下す態度はかわらない。

腹をたて、もう来るものと胸の内では悪態をつきながら、週末が近づくと家政婦の沢野春江と交代する月曜日を、なんとなく心待ちにしている。

直子はデパートで、博行の好物であるくずまんじゅうを買おうと思った。抹茶あんの、それもたつぷりと入ったのを、昔、彼は特に好んだ。これなら柔かいから、口を含めば充分に溶けるだろう。

デパートの中はひどく混んでいた。正面入口から地下の食品売場へ続く、エスカレーターの方向へ歩いていった直子は、しめっぽい人いきれの中で、ふいに記憶の底に沈んでいた濃厚な香水のかおりを鼻にして足をとめた。上島令子だ、と瞬間思った。心臓が、ドクドクと音をたて始める。

体ごとふり返って、直子はそこが香水売場なのに気がついた。

そう言えばヨーロッパに行くと言っていた令子が、今ごろ松山のデパートにいるわけがない。

思いきりショートカットにした娘の耳元で大胆なリングのピアスが揺れている。アイボリー色のそれは、ほっそりと着こなした濃いグリーンのスーツによく似合っていた。

彼女は店員から見本用の香水を、胸元に、耳の後にとスプレーしてもらっていた。上島令子のかおりだった。

「いらっしやいませ」

視線に気づいて店員が笑顔を向けた。直子は彼女の手の中の香水を見る。

「それは、何という香水ですか？」

「これですか？ これはミス・デイオールでございます」

つけてみられますか、と彼女はにこやかに言った。直子はあわててかぶりをふる。

ふだん、どちらかといえば匂いには敏感な方だった。体質なのか、香水でさえも種類によっては胸がむかつき、酔うことがある。人のつけているのでさえそうなのだから、直子は香水と名のつくものは一切つけたことがなかった。

むしろそうしたものより、お茶の時に使うお香の方が好きだったし、それ以上に、しまいこんだ着物を、久しぶりに取り出した時の、たとう紙からこぼれる樟脳の匂いの方がもっと好きだった。

□第17回

神戸文学賞作品募集

本誌は昭和51年に創刊15周年記念として神戸文学賞・神戸女流文学賞を創設いたしました。これまで左記の通りに各賞の受賞作が決定しておりますが、第11回の募集より、さらに質の向上をはかるため「神戸文学賞」の名称に統一、受賞作を一作品として、現在、広く作品を募集いたしております。

・第十一回「瞑父記」(田能千世子―茨木市)

・第十二回「夢食い魚のブルグドバイ」(釜谷かおる―高砂市)

・第十三回「お夏」(門田露―西宮市)

・第十四回「風車の音はいらない」(上田三洋子―長岡京市)

・第十五回「渴き」(刀禰喜美子―大阪市)

・第十六回「香水はミス・ディオール」(白石美保子―今治市)

ここに第17回文学賞を公募するにあたり、多数の意欲的御投稿をお願いするとともに清新かつ強力な作品の出現を期待する次第です。

〈募集要項〉

一、応募作品は小説とし、応募資格は問いません。ただし応募作品数は一篇に限ります。

一、応募作品は未発表原稿、または締切以前、一年未満に発行の同人誌に掲載したものに限ります。

一、原稿枚数は四百字詰60〜70枚。ワープロ原稿は四百字詰に換算した枚数を記入のこと。

一、原稿には住所、本名(筆名)、年齢、職業、略歴を明記し、四百字程度の作品梗概を必ずつけて下さい。

一、締切りは平成四年八月三十一日(当日消印有効)

一、受賞作品発表は本誌平成四年新年号誌上で、同号より作品を掲載します。

一、原稿の返却、選考経過などに関する問い合わせには応じかねます。

一、受賞作品の著作権は本誌に属します。

一、受賞作品には副賞として賞金三拾万円が贈られます。

一、原稿の送り先、お問い合わせは、神戸市中央区東町一―三の一 大神ビル九階 月刊神戸っ子「神戸文学賞係」まで。
電話〇七八―三三三―二二四六

主催／月刊神戸っ子

東天閣

■西神そごう

●KOBEm味の散歩道

神戸市西区梶台 5丁目

9番4

西神そごう5階

☎078-991-1122

東天閣-大阪・心斎橋 06-271-0131

東天閣-大阪・マルビル 06-346-0022

東天閣-芦屋・モンテメール
0797-32-8181

東天閣-神戸・トアロード
078-231-1351

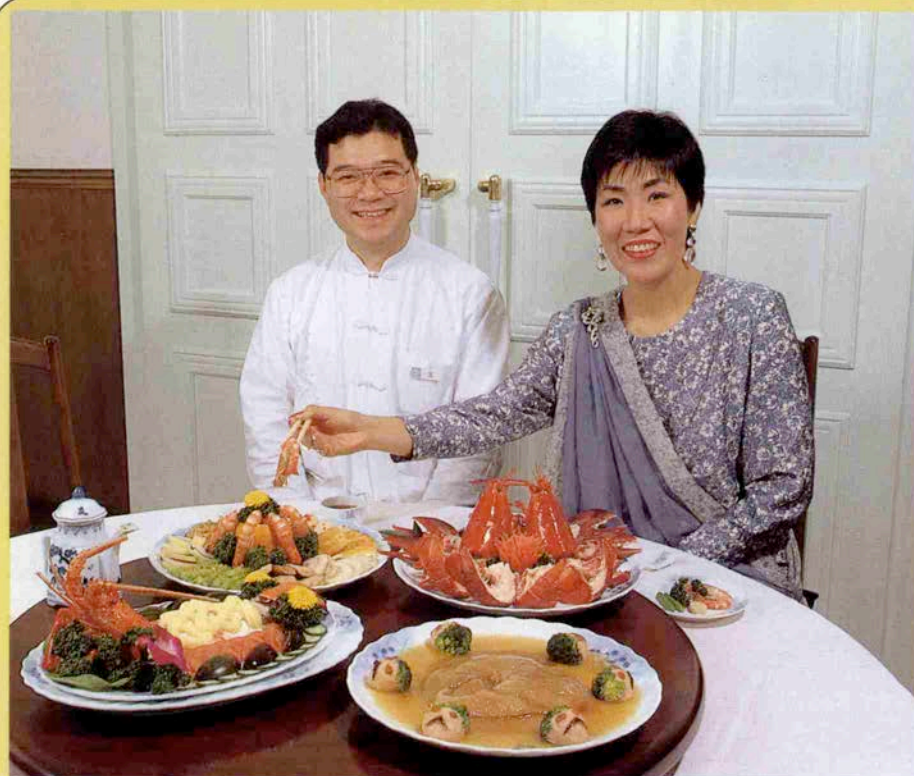
東明閣-神戸・明石町 078-391-5151

■営業時間

AM11:00~PM3:00 平日

PM5:00~PM9:00

AM11:00~PM9:00 土曜・日曜・祝日



●大・小各個室を完備しており、120名様までの御席をご用意出来ます。
各種会合・会食・ご宴会等にご利用頂けます。

村上和子 (ジャーナリスト)

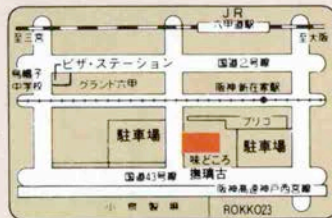
西神そごうの大きな魅力は、「川の流れるレストラン街」に、神戸や明石の個性ある味の一流店が、ズラリ勢揃いしていること。
ピンク色の花を敷きつめた絨毯が、まるで「食の桃源郷」に似ているように迎えてくれる、「東天閣」。
神戸を代表する老舗の味は、中国料理の醍醐味を、心ゆくまで満喫させてくれる。
厳選された素材で作られる洗練された料理の数々……。
中でも、「王宮コース」は、東天閣の「格調高い味の顔」。
トアロード本店のホンモノの味をご存知の方々が「東天閣の味をご家族や親しい方々にと、ご一緒にお見えになることが多い」と王支配人。



すっばん鍋コース



味どころ
ろくろ



季節の味を育て

選び抜かれた旬の素材を、おちついた
雰囲気の中でご賞味下さい。
四季折々の味でおもてなし致します。



野立弁当5,000円(税・サ入)2名様以上
3月1日～5月末日まで(日・税を除く)
前日までに要予約

〒657 神戸市灘区新在家北町1-1-18
電話 (078) 841-9555

営業時間/午前11:30～午後10:00
年中無休 駐車場完備

- 午後2時から午後5時までは喫茶
だけでもご利用いただけます。
- 仕出し・ご宴会のご予約も承ります。

神戸百店会

*宝飾品 Jewel・Pearls

- ①宝飾 ミキモト Mikimoto Pearls
 ②宝飾 田崎真珠店 Tasaki Pearls
 ④宝飾 タジマ Jewel Tajima
 ⑤時計と宝石 美田時計店 Mita Watch Shop
 ⑥宝飾 神戸ダイヤモンド Kobe Diamond
 ⑩宝飾 木下真珠 Kinoshita Pearls
 ⑪宝飾 森真珠 Mori Pearls

*紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop

- ⑦紳士服 柴田音吉洋服店 Tailor Sibata
 ⑩男子洋品 フナキヤ Funakiya
 ⑪紳士服 十字屋洋服店 Tailor Jujiya
 ⑫洋品雑貨 サノヘ Sanohe
 ⑬ワイシャツ 神戸シャツ Kobe Shirt
 ⑭紳士服 洋服の粋渡 Watanabe
 ⑮紳士服飾 ウネ Men's Shop Une
 ⑯紳士シャツ 大和屋シャツ Yamatoya Shirt
 ⑰レディースファッション ハウズ MERCURY
 ⑱紳士服飾 西川 G
 ⑲紳士服 アダム G
 ⑳メンズファッション M A C
 ㉑ファッション プレイス C O L

*婦人洋装・洋品 Ladie's Shop・装身具・服飾品

- ⑲帽子 マキシム Maxim
 ⑳服飾雑貨 エスターニュートン Esther Newton
 ㉑ハンドバッグ シラサ Shirasa
 ㉒ベビー用品 ファミリア Familiar
 ㉓婦人服地 シンワ

- ②⑤婦人靴 ジョアンナ Okada
 ②⑥洋装 マスベ Beniya
 ②⑦婦人服飾 セリザワ Serizawa
 ②⑧服 ベニーモ皮店 Bennie Furrier (Furs)
 ②⑨高級婦人服地 コマツ KOMATUYA
 ②⑩婦人服飾 サン・アイ San-ai
 ②⑪オートクチュール ソエン Soen
 ②⑫婦人服飾 リザ Liza
 ②⑬クチュール&アクセサリー ウインザー La POMME
 ②⑭ハンドバック イクシマヤ Ikushimaya
 ②⑮アクセサリー 芸 Gému
 ②⑯BALLYフィッティング 直輸入家具 Cross Shoes
 ②⑰婦人・紳士靴 ヨシオカ Shoes Yoshioka
 ②⑱婦人服飾 サンジェルマ ミ

*和装 Kimono. Geta *美容 Beauty Shop

- ②⑲呉服 ちんがら屋 Chingaraya
 ②⑳呉服 みよし Miyoshiya
 ㉑衣装 中川衣装店 Nakagawa
 ㉒衣装 つるや衣装店 Turuya
 ㉓美容 あきら美容室
 ㉔美容 美容室エリザベス Elizabeth Beauty Shop
 ㉕美容 みどり美粧院

*美術・工芸品 Art

- ㉑美術 元町画廊・若木屋 Motomachi Gallery
 ㉒画材・顔料 末積製額 Suezumi
 ㉓工芸 磯川工芸店 Isokawa

- ㉔美術陶磁器 淡洲堂 Tanshudo
 ㉕新古典美術 播磨 Harishin
 ㉖記念品・贈答品 平山商会

*家具 家庭・文化用品 Furniture・Family

- ㉗家具 永田良介商店 Nagata Ryosuke Shop
 ㉘玩具 カメヤメ Kameya Toy Store
 ㉙メガネ 神戸眼鏡院 The Kode Optical Co., Ltd
 ㉚カバン 大上靴店 Oue Trunk Co.
 ㉛ゴルフ用品 タカハシ GOLF & BAG TAKAHASHI
 ㉜メガネ 服部メガネ店 Hattori Optical Shop
 ㉝結婚儀式用品 遠藤福寿堂 Endo-Fukujudo
 ㉞洋家具・カーテン・カーペット インテリアライフネ Interior Iriune
 ㉟電器・インテリア メープル FUJIYA
 ㊱内外書籍・文具 丸善神戸元町店

*菓子・喫茶 Cake・Tea-room

- ㊲和菓子 神戸風月堂 Kobe Fugetsudo
 ㊳洋菓子 クッキーの館 クドン
 ㊴洋菓子 モロゾフ Morozoff
 ㊵喫茶 ユーハイム Juchheim's
 ㊶洋菓子 ザ・ヒロタ THE HIROTA Confectionery Inc.
 ㊷洋菓子 ユーハイムコンフェクト
 ㊸和菓子 二つ茶屋 Futatsuchaya
 ㊹菓子 本高砂屋 Hon-Takasagoya
 ㊺菓子・パン 神戸ベル河南 Kanando
 ㊻チョコレート コスモポリタン Cosmopolitan
 ㊼瓦煎餅 菊水総本店 Kikusui Sohonten
 ㊽喫茶 UCCカフェプラザ ゴンチャロフ

- ㊾パン・喫茶 カスカード Cascardo
 ㊿洋菓子 西洋菓子処フーケ
 ㊽㊾スィス菓子 ハイジ

*和洋料理 Eating House

- ㊽㊿日本料理 竹葉亭 Chikuyotei
 ㊽㊾天婦羅 お可川 Okagawa
 ㊽㊽寿司 本成駒家 Hon-Narikomaya
 ㊽㊼とんかつ 武蔵 Musasi
 ㊽㊻ビヤ・ホール ニュー・トーキョー New Tokyo
 ㊽㊺海川魚料理 時雨茶屋 Shigure Jaya
 ㊽㊹軽料理 蛸の壺 Takonotsubo
 ㊽㊸フレンチ レストラン 北野クラブ The Kitano Club
 ㊽㊷ふら・寿司 栄 Sakaeya
 ㊽㊶寿司 又 Matahei
 ㊽㊵神戸肉 大井肉店 Ooi Beef Shop
 ㊽㊴料亭 松の家 Matsu no ya

*ホテル Hotel *商社 Trading House

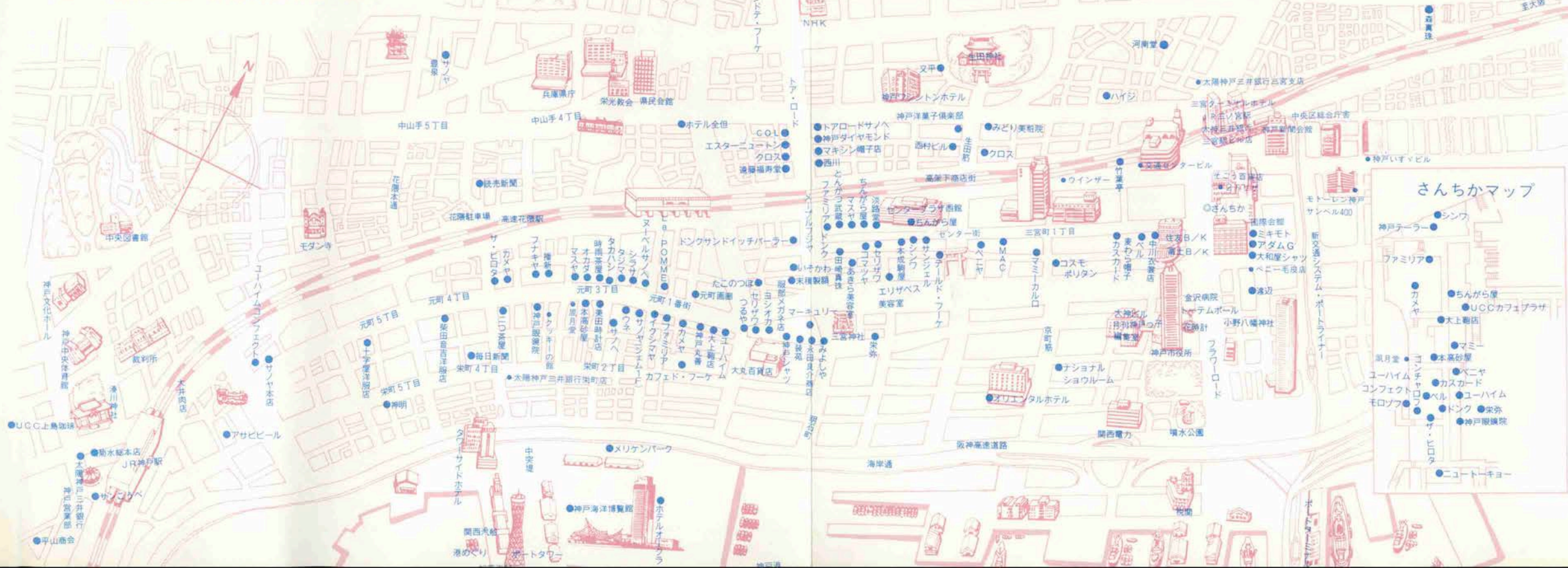
- ㊽㊳ホテル 神戸オリエンタルホテル Oriental Hotel
 ㊽㊲観光旅館 有馬温泉(東有馬)古泉閣 Kosenkaku
 ㊽㊱観光旅館 ホテル全但
 ㊽㊸ホテル 神戸ポートピアホテル KOBE PORTOPIA HOTEL
 ㊽㊷ホテル 新神戸オリエンタルホテル
 ㊽㊶ビール アサヒビール
 ㊽㊵電化住設 ナショナルリビングプラザ神戸
 ㊽㊴銀行 太陽神戸三井銀行 THE TAIYO KOBE MITSUI BANK,LTD.
 ㊽㊳珈琲・紅茶 直輸入 UCC上島珈琲
 ㊽㊲自働車 株式会社神明
 ㊽㊱輸入車 神戶いすゞ自動車
 ㊽㊸輸入車 モーターレン神戸
 ㊽㊷紳士服 アルファニック神戸店

KOBE 百店会 MAP



★KOBE HIGH CLASS SHOP GROUP
神戸のユニークな専門店でお買いものを！

- センタープラザ
B1 ファミリーマート
B1 グランドカンパニー
1F ベル
1F ベニヤ
1F 大和屋シヤ
1F 芸藝
2F 映画
2F ショアンナ
2F リサ
●神戸ポートピアホテル
B1 つるや衣店
1F ファミリア
2F 田崎真珠
●さんブラサ
B1 とんかつ武蔵
B1 亀井堂
B1 ゴンチャロフ
B1 カスカート
1F ジョアンナ
1F モロゾフ
2F セリサワ
2F マスヤ
2F 3F 三堂
3F 喜夢
3F コマツヤ
●三宮ターミナルホテル
11F ヘル
11F ゴンチャロフ
●地区の都合上記入できないメンバー
●六甲オリエンタルホテル
●インテリアイリフネ ●有馬温泉 古奥閣



さんちかマップ

- シンワ
- 神戸テラー
- ファミリア
- カメヤ
- ちんがら屋
- UCCカフェプラザ
- マミー
- ベニヤ
- カスカード
- ユーハイム
- ドンク
- 栄奈
- 神戸眼鏡院
- ニュートキョー



香加太蝦(えびのトマトソース)
¥1200



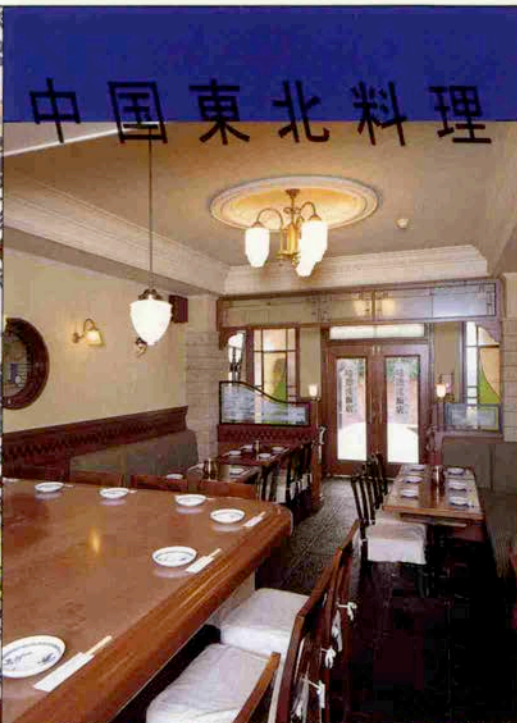
溜干豆腐(豚肉、中国豆腐、白菜、きくらげの炒めもの) ¥780



溜干金針(きゅうり、えびのきの冷菜)
¥650



煎餃子(焼餃子) ¥550



中国東北料理



炸茄盒(茄子餃子) ¥680



酢黄菜(玉子の甘露揚げ) ¥850

呀えわたる味覚、ハルビン料理の粋。

溜干豆腐(豚肉、中国豆腐、白菜、きくらげの炒めもの)	¥780
桜桃肉(酢豚風)	¥760
蒸餃子(限定製造)	¥500
凉拌金針(きゅうり、えびのきの冷菜)	¥650
炸茄盒(茄子餃子)	¥680
煎餃子(焼餃子)	¥550
酢黄菜(玉子の甘露揚げ)	¥850

神戸・北野、異人館通り、家庭的な雰囲気のお店でゆったりとお食事をお楽しみ下さい。

団体 貸切り、その他コース料理も承ります。

ハルピン料理



ハルビン
哈爾濱 飯店

中国、東北地方(旧満州)。

この地方に生まれたハルビン料理は、

素朴にして華やか、

味覚の根幹を揺り動かす

おらかな大陸の魅力を伝えます。

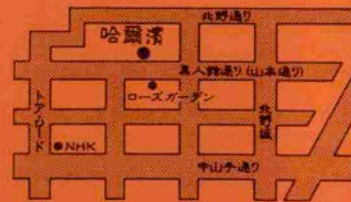
食の贅沢を追求してやまない街、

神戸・北野で中国の歴史とあたたかさが

はぐくんだ本当の味の復権を叫びたい。

一皿の料理から始まる食楽の自由主義が、

いまあなたを刺激します。



〒650 神戸市中央区北野町4丁目8-3
北野ローズガーデン向い
TEL.078-221-0168

営業時間/昼11:30~15:00 夜17:00~21:00
(定休日/毎週月曜日)



国際コーヒー文化会議'92.5.15~17

コーヒーは、どう飲まれて来たか

諸岡 博熊へUCCコーヒー博物館館長へ

インタビュアー／小泉美喜子へ月刊神戸っ子編集長へ

五月十五日から十七日まで、ポルトアイランドのUCC上島珈琲神戸本社ビルを主会場として、「国際コーヒー文化会議」が開かれる。そこで、その概要を小誌編集長・小泉が、諸岡博熊UCCコーヒー博物館長にお伺いした。

諸岡 ええ、五月一日に竣工です。隣接する当博物館も開館五周年を迎え、今回の催しは、これらを記念してのことです。

小泉 今回のテーマは、「国際社会におけるコーヒー飲用文化」となっていますが、特に「文化」を強調されておられますね。

諸岡 そうです。これまでは、コーヒーとの取り組みと言いま

すと、価格とか生産量とか、専ら文明論的側面ばかりですね。ところが時代の変遷とともに、いかに美味しく飲むかという質の問題、あるいは、どのようなカップで飲むか、さらには、コーヒーを飲みながらの語らいや雰囲気、そういった生活においてコーヒーの持つ文化的な小道具としての側面が重要になって来たわけです。

小泉 まさに「一杯のコーヒーから」という歌の通りですね。

諸岡 そうそう。二十一世紀を間近にしてこれからは、コミュニケーションの時代と言いますか、ふれあい、おしゃべりと言った感性の優しさが求められると思います。が、空気のように、さりげなく触媒の役割を果たすのがコーヒーではないでしょうか。

小泉 消費側からコーヒーを考えて行くということですね。

諸岡 コーヒーが、日本をはじめ各国で、どのように消費されて来たかという飲用文化を比較することによって、コーヒー文化の未来が見えて来るのではないかと考えているんです。



諸岡館長（右）と小泉（UCCコーヒー博物館にて）



木村 治美
〈共立女子大学教授〉

小松 左京
〈作家〉

ベーター・ラングハママー
〈ウィーンコーヒーハウス〈スイス
オーナーズクラブ会長〉

ダニエラ・U・パール
〈スイス ヨハンヤコプス
博物館館長〉

アレクサンドル・F・ベルトラオ
〈国際コーヒー機構
(ICO) 事務総長〉

石毛 直道
〈国立民族学博物館教授〉

小泉 UCCコーヒー博物館は
ポルトビシア博の「遺産」をうま
く生かし、企業博物館の先端を
行っていると思うのですが。

諸岡 企業の利益を少しでも社
会還元できればと考えてつくつ
たのですが、この五年間は、い
わば内部充実の時代。博物館は
永遠に未完成のもですが、こ
れからは外に向って、「国際」環
境「観光」のいわゆる3Kを打
ち出して行く必要があります。
国際交流の一つの取っかかりと
して今回の国際コーヒー文化会
議を開くわけです。

小泉 今回の会議の「見どころ」
はどういうところですか。

諸岡 全体のコーディネーター
を木村治美さん（共立女子大学
教授）にお願いしています。ゲ
ストスピーカーを何人かご紹介
します。まず石毛直道国立民族
学博物館教授。日本人は、コ
ヒー、紅茶、緑茶などを使い分
けて飲んでいますが、これは世
界的にも珍しい。この文化的な
重層構造を話していただきます。

次に作家の小松左京さん。ヨ
ーロッパの喫茶店は、元々サロ
ンから発達したのですが、日本
のそれは江戸時代の水茶屋から。
その成立ちと変遷を聞きます。

日本の伊万里焼がマイセン
に与えた影響はよく知られてい
ますが、陶磁器から見たコーヒ
ーカップの変遷を吉永陽三佐賀

県立九州陶磁文化館学芸課普及
係長にお願いしています。

その他にも、アイスコーヒー
は日本独特の飲み方だといった
「戦後日本のコーヒー飲用」(木村
隆吉UCC上島珈琲副会長)、
UCCは世界に先がけて缶コー
ヒーを開発したのですが「缶コ
ーヒー文化論」(高田公理愛知学
泉大学教授)など、オーストリ
ア、オーストラリア、スイス、
ジャマイカ、コロンビア、エチ
オピア、アメリカから、さらに
ロンドンに本部のある国際コー
ヒー機構の事務総長などのゲス
トスピーカーも含め実に盛りだ
くさんです。

小泉 パーティもあるんですか。
諸岡 十五日夜、当博物館での
ウェルカムドリンク、十六日夜、
相楽園会館でのデイナーパーティ
があり、それぞれ趣向を凝ら
しています。

小泉 ところで一般の方でも参
加はできるのでしょうか。

諸岡 勿論ウェルカムです。参
加登録費はお一人三万円で、四
月十日迄受けつけています。

小泉 お申し込みは早目に(笑)。

諸岡 内容については、大いに
期待していただいて結構ですよ。

〈申し込み、問い合わせ〉

国際コーヒー文化会議実行委員会事務局
神戸市中央区港島中町六丁目六一二
UCCコーヒー博物館内
TEL (078) 302-8880
FAX (078) 302-8824

SHOPPING



● 額
作品のサイズ、色調にあわせ、ぴったりの額をお選びします。どんなデザイン、どんなサイズでも気軽にご相談くださいませ。

末積製額

トアロード・大丸前
☎331-1309



● アクセサリーブティック
甲羅の裏側は、波のような、おしゃれな模様です。明るい春の光を浴びて、やさしく美しく、輝きます。

La DOMME SINCE 1873

元町一番街山側
☎331-6195



● 手づくりのころを伝える
三角の屋根が目印の西宮北口店。こぼれ出しパンの香りに誘われて、思わず中をのぞいてみたくなる、おいしいパン屋さんです。

 Cascade

西宮北口店
西宮市甲風園1丁目
入江ビル1F
☎(0798) 65-3821



● 真珠と宝石
淡水真珠の天然色とバロックの魅力。
当店オリジナル商品。
¥500000—¥700000

富美宝飾

ジュエリー・アドバイザー 呉 富美

中央区下山手通3-1-15
シエンビル5F
(トアロード)
☎331-4740

TASTE

For Your Favorite Time



● スイス菓子
自分の気持ちをカタチにしたい。あなただけのカスタムメイドチョコをハイジは作ります。



HEIDI

■ 本店
神戸市灘区水道筋
6-1-18
☎ 801-4466



● ティールーム
カフェを手にする時は、いつも最高でいたい。マイベストタイムをカレットで……。姉妹店「カフェ・ド・ラセール」もご愛顧ください。

Carette

元町一番街浜側
☎ 321-1739



● うどん・そば・和菓子
ちから餅のうどん、そばや和菓子、お餅などの数々は、いつも変わりなく、肩のこらない味が嬉しいのです。

うどん・そば
和菓子

ちから餅

トアロード
☎ 331-3250・3251



● 高級デリカテッセン
純ドイツ式・スコッチ式製法で作られたスモークソーモン、ハム、ソーセージ。神戸らしい洗練された味をこの冬のギフトにぜひ。

株式会社 トアロード デリカテッセン

〒650 神戸市中央区北長狭通2-6-5(トアロード)
Tel (078) 331-6535 FAX (078) 332-7374

春は歓迎会、送別会など、様々な集いが多くなる季節です。神戸らしいおいしいお店で、集ってみてはいかがでしょう。新しい出会いがあるかもしれません。

★かるーく中華が食べたい
人のお店

飲茶とは違う小皿中華で話題のお店。人気の秘密は小皿ならではのリーズナブルな値段、そして、少人数でいろんなものが食べられるというところ。上海湯麺（ラーメン）180円（！）海老のチリソース（450



上海俱樂部

神戸市中央区加納町4-16-18
北野坂 高山ビルB1・B2
PM4:30 AMO 日祝日休
☎321-1220

円）、豚足（3000円）。何度でも足を運びたくなる。天井から下がる照明のシェードの渋めの緑、そして、壁にかかる御自慢の絵々等、店内にも凝った同店、中華大好きの子が気軽に立ち寄れる店だ。カップル、女性客にぴったり。

★「にしむら」の粋を集めた本格的フランス料理を
北の坂の蔦の絡まるシッ

クな煉瓦造りの優雅なたたずまい。その二階がシェ・ラ・メールにしむら。宮水珈琲のにしむらが本格的フランス料理の店としてつくったスペース。料理、店内の装飾もさることながら、レトロな雰囲気のものもまたすばらしい。オーナーであ



る川瀬喜代子さんの憎い心遣いが隅々まで行き届いている。また、お昼は、Aランチ2500円、Bランチは、3700円とリッチな雰囲気です。リーズナブルに楽しめるのも魅力のひとつ。グルメの舌を満足させる「にしむら」の粋を集めた感じがする。

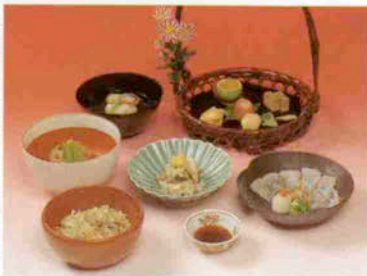
シェ・ラ・メール にしむら

神戸市中央区山本通2-11-20
AM11時半 PM2 月曜休
にしむら珈琲北野店2F
☎242-2467

★見事な包丁さばきと新鮮な瀬戸内の魚が楽しめる

世界の味が楽しめる神戸では日本料理でも他の都市にひけをとらない。

三宮東の横丁にあり、陳舜臣さんら地元文化人にもお馴染み、神戸でも屈指の板前料理店は、栄彌。明石の天然鯛や天然蛸、



寿司、てんぷら、鍋物と、とれたての魚を生かした料理は日本料理の贅の粋。特にふぐにかけては天下一品。お昼はてんぷら定食など手軽な料理で、夜は一品からお任せコースまで幅広く楽しめる。

新鮮な魚もさることながら、御主人の見事な包丁さばきと人柄にひかれて通う客が多い店。

栄彌

神戸市中央区三宮町2-12-17
AM11時半 PM9 水曜休
☎331-5772

“春の宴”——新たな出会いをつくる——

★老舗の神仙閣に お昼の新メニュー誕生

神戸に数ある中国料理の中でも、神仙閣は老舗中の老舗。その神仙閣のメニューにお昼のサービスレディースコースが加わった。利用時間は平日午前11時〜午後2時。3人以上でひとり3千90円。(税込み) 男性も



利用できる。あっさりとした味わいで、四季折々の味覚が楽しめる、ボリューム満点で、リーズナブルなサービスレディースコースがこの春、お勧め。予約問い合わせは、神戸店まで。

神仙閣

神戸店・神戸市中央区下山手通2-13-1
☎331-1263
梅田店・大阪駅前第一ビル12F
☎06-341-4071
阿倍野店・アベノ近鉄百貨店10F
☎06-6251-2373
AM11~PM9
(オーダーストップPM8) 無休

★テーブルを囲んで 和気藹々と広東料理を

美味しい中華料理店の多い神戸で、カタチにこだわらない斬新さが若者に人気を呼んでいる。壁面を利用したギャラリはシックな雰囲気を出し、おしゃべりを満足させてくれる。もちろん料理は一流の料理



人によるもの。本格的な中国料理が気軽に洒落に楽しめる。南店は買い物帰りに気軽にワイワイ立ち寄りしたい。20種類のおかずから一品選ぶランチはスープがついて、600円〜1220円。ごはんが食べ放題なのがいずれ。

TEI・TE

AM11時半~PM10
(入店ストップPM9) 月曜休
トアロッド店 ☎333-6888
南店 ☎321-3332

★新鮮な和牛焼肉を リッチな雰囲気の中で

今までの神戸にはなかった新しいタイプの焼肉レストラン。一見するとフランク料理店の様な雰囲気だ。肉はすべて和牛。新鮮で肉の質も吟味しているので、タレも素材を生かしてあっさりめ。塩タン、800円。



骨付カルビは大きな骨に肉がついており、鉄板にのせて焼きながら切るダイナミックな趣だ。(100g ¥800円)。無煙ロースターを使っているのにおいが洋服につかないのも嬉しい。8名までのVIPルームもあり、商談に利用する人も多い。

帝

神戸市中央区下山手通2-14-13
高山ビル1F ☎333-8801
PM5~AM3
(オーダーストップPM2) 木曜休

ご宴会は“あこや亭”でどうぞ……。



冬にはやっぱり暖かい“鍋”が一番。
あこや亭では名物手打ちうどんをはじめ、鍋物、京風料理、天ぷら料理、その他、バラエティーに富んだメニューを取り揃え、皆様のご来店を心より、お待ちしております。

▶三階大宴会場
お座敷で200名様まで。舞台付、
レーザーカラオケもあります。
・分割してもご利用頂けます。
●一階はテーブル席、天ぷら
カウンター、二階はお座敷と
してご利用になれます。



●お料理の内容、ご予算、ご人数等、お気軽にご相談下さい。

和風お食事処
あこや亭 布引店

神戸市中央区旗陽通7-1-1 田崎真珠布引ビル 営11時～22時30分
☎(078)231-2400(代) ご宴会のご予約はフリーダイヤルで ☎0120(078)058

「花のかたち」より
「花のこころ」を伝えたい。



~~~~~Schedule~~~~~

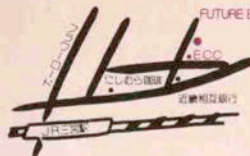
|   | モーニングクラス<br>(AM) | アフタヌーンクラス<br>(AM) | イブニングクラス<br>(PM) |
|---|------------------|-------------------|------------------|
| 月 | 1-3              | 3-5               | 6-8              |
| 火 | 10-12            | 1-3               | 3-5              |
| 金 | 1-3              | 3-5               | 6-8              |
| 土 | 10-12            | 1-3               | 3-5              |

自然の中にある  
「いのち」に暮ら  
しを映しとるー



フラワーデザインは、  
そのひとつの手段です。  
三宮に新しく生まれた  
教室で感性を磨いて、  
心豊かな人へ……。

マミフラワーデザインスクール 神戸



FUTURE BLD 1F フラワーデザイン HANA・AU  
はな あう

TEL・FAX  
078-231-8786  
はなハロー

寺尾啓子

ビジネスに!  
ショッピングに!  
ご利用ください



## 磯上モータープール

(神戸国際会館前) TEL (078) 251-2662 (8:00A.M.~11:00P.M.)

- 収容台数 350台
- 月極駐車可
- 年中無休



## KITANO MAP

おばあさんのごちそう  
——グラシアニ

例えばフォアグラやキャビア。ウン万  
円というお金を払ってフランス料理のフ

ルコースを食べたのに“こんなものかな?”  
と感じた経験はありませんか?新しくなっ  
たグラシアニは“無理をせず、いつもより  
少しごちそう”のフランス料理が中心のい  
わゆる街のレストラン。牛肉の煮込みやブ  
イヤベースなど、少し特別な日に、おばあ  
さんがつくってくれたようなメニューの数  
々は、全て総支配人守田さんのアイデアで  
す。おすすめは、鰯料理と牛フィレ肉の組み  
合わせフルコース“シェフの春の夢”(7000  
円)。ランチも2000円からと、手頃です。披  
露宴やパーティにもぴったり。春の一日、グ  
ラシアニさんのお宅へお呼ばれに行ってみ  
ませんか?



■神戸市中央区北野町4-8-1  
☎11~14(ランチタイム) 14~17  
(ティータイム) 17~22(ディナー  
タイム) 無休/☎242-0597

## ・フランス料理・

## 北野クラブ

神戸市中央区北野町1-5-7

☎222-5123

◇ランチタイム a.m.11:00~p.m.2:30

◇ディナータイム p.m.5:00~p.m.10:30



中央区北野町4丁目8-3

ジャスナムアベニュー2F ☎242-5382

## 神戸割烹

## お可川

中央区北野町1丁目5-10

☎222-3511

11AM~9PM

スキャンディンナビ料理と  
世界の民族音楽の店

## ゴックスタッド

中央区山本通 回教寺院前

☎242-0131

5PM~0:00AM 水曜定休

神戸で最初に公開された異人館

## うろこの家

中央区北野町2丁目

☎242-6530

異人館のユーハイム

## ラインの館

中央区北野町2丁目10-24

☎222-6266

10AM~6PM 第3木曜定休

手づくりのシフォンケーキと  
サンドイッチ  
ファミリア

## 北野坂ハウス

中央区北野町2(北野坂)

☎222-3535

11AM~6PM 月曜休

ワインレストラン・ワインハウス

## ロテロゼ

中央区北野町4丁目9-14

☎222-3200

フランス料理

## グラシアニ

中央区北野町4-8-1

☎242-0597 火曜休 予約制

フランス料理

## ゲーニー北野

中央区北野町2丁目7-18

リンスギャラリーB1F

☎242-2562

会員制レストラン  
インターナショナルゾーン  
CASABLANCA CLUB  
カサブランクラブ  
中央区北野町3-1-6☎241-0200・222-0182(バビロン)  
入会金10,000円 お食事2,000円~  
17:00~24:00 (フルコース)

料亭・ラウンジ

## 北野異人坂

中央区北野町2丁目9-22

☎222-2001

11AM~6PM(ティー&amp;ランチタイム)

6PM~11PM(料亭&amp;ラウンジタイム)

フランス料理

## ビストロウリヨン

中央区山本通2丁目13-6

☎221-2727

正午~10PM 月曜休

英国風レストラン

## St. George Japan

中央区北野町1丁目2-17

☎242-1234

11AM~3PM(ランチタイム)

5PM~11PM(会員制)

フランス料理

## ジャン・ムーラン

中央区北野町2-16-8

☎242-4188

11:30AM~2PM

5PM~10PM 水曜休

## ローズ ガーデン

中央区山本通2丁目8-15

222-1140

## KITANO





# 北野物語

文・宮本豊子

写真・中村年延

北野、山本通りを象徴する二匹の名犬。今、ペットにしたいNo.1の勇壮なシベリアン・ハスキーのオスのアサシオとメスのタマ。道で出会えば思わず抱きしめたくなる。黒い毛は光ってみえ、鼻筋と足の白さは、一層白さを増してみえる。タマは、その黒がやや灰色を帯び、よりハスキー犬らしい色調で、アサシオより一まわり小柄である。

実は、このアサシオとタマに、昨年11月、赤ん坊が誕生した。お産は富永家のマンションの一室で、朝七時から始まった。タマも初産なら、家族総出（ご夫婦、娘の真理さん）で手伝う富永家にとっても初体験であった。夕刻の四時までかかって七匹の仔犬をタマは産み続けた。富永家の一大イベントであった。仔犬誕生の日から奥さんの仔犬体重測定が始まった。生まれたとき一番軽かったのが五二〇g、重かったのが六百gであった。

仔犬にも仮の名がついた。乳牛のホルスタインに似たブチのがホルちゃん（写真にいない）気持だけ尾の先が白いキモチ、鼻筋の黒が口近くまで下がり気味のハナミズ、胸が茶色一色のナミ、頭から背へジグザクの白線を描くイナズマ、背中がちよっぴり白いチョビ、そして、アサシオそっくりがアサシオジュニア。ちなみに、父親のアサシオの名は、現若松親方（当時現役）に似ていてこの名になった。この仔犬たちも一月初めにすべてがもらわれていき、再び、アサシオとタマの生活に戻っている。

そもそも、富永家にハスキー犬が飼われたしたのは、平成元年初の真理さん誕生日のこと。彼女のおねだりで三宮のペット店でアサシオを父親の晟さんが求め贈ったのがきっかけだ。その翌年、父親の勤める高校へ、二日間、野球観戦に行った真理さんが、学校前のペット店でタマをみつけ、仲良くなり、店の人のすすめでタマも富永家に仲間入りした。そして、今回のおめでたとなった。

お人よしのアサシオは街の人気もの。人間の赤ん坊や幼児が大好きで、



▲愛犬家の間で人気ナンバーワンの  
シベリアン・ハスキー。母親のタ  
マ（手前）と父親のアサシオ。

道で会えば見とれて、カンバンや電  
柱にぶつかってしまうというほどだ。  
過日も、北野小学校に逃げこんで、体  
操の時間の生徒たちと一緒にかけっ  
こしたりして、家人を困らせた。一  
流レストランのシェフもアサシオフ  
アン。人間も食べられないような高  
級品が両犬の口へ。ジャンムーラン、



▲散歩に出掛けるのも、自宅から公  
園までは、手さげ袋に入って往来。  
■山本通り二丁目

生田神社下のステーキのみその、豚  
足の梅春園は後援会の会員だ。

さすが、シベリアが原産国のハス  
キー犬とあって、雪の降る日が待ち  
どおしい。日頃は、富永家のマンシ  
ョン（3F）の一等部屋、八畳近く  
を占領している。地域のペット犬で  
ある。



▲愛犬一家の富永ファミリー。左からキモチ、ご主人の殿さん、チヨビ、アサシオ、イナ  
ズマ、アサシオジュニア、高校生の真理さん、ハナミズ、奥さんの千恵さん、ナミ。  
■山本通り二丁目